

SDT19011

多数のデモ装置を用いた振動工学の教育改善の試み

○佐伯 暢人
(芝浦工業大学)

An attempt towards the improvement of the lecture on “Vibration Engineering”
using vibration machines

Masato Saeki
(Shibaura Institute of Technology)

振動装置を用いた振動工学の教育改善の試みについて紹介する。当該講義ではモデル図から運動方程式の立式へという流れを脱却し、多数のデモ装置を用いて、受講者が参加できる講義スタイルを構築している。実際の機械の動きやそのメカニズムを知ることができることから、当該講義は受講者から高い評価を得ている。講義スタイルや装置については、これまでに15名以上の企業や大学の研究者に見て頂き、改善を行ってきた。当該講義スタイルは大学だけでなく、企業での研修にも利用することが可能と考えられる。

Key words : 振動、騒音、技術者教育

